

【授業科目】看護研究演習

Seminar of Advanced Nursing Research

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
杉崎一美、大谷喜美江、大西信行、工藤安史	1年次後期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対するフィードバック方法	この演習では量的・質的研究の実際について学ぶ。研究テーマの設定、論文をまとめる際の手順、調査票の作成、研究計画書の執筆など論文の実践について演習を行う。先行研究の発表、研究デザインの選定、具体的な解析方法、調査票の作成などについて、教員が助言を行いつつも、学生間でディスカッションを中心に講義を展開する。 課題に対するフィードバック方法/討議、プレゼンテーションを通して、ピアおよび教員からコメントを伝える。					
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー②、③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	① 量的および質的研究について、種類や特徴、概念枠組み等、データ収集・分析方法、結果の表記・考察方法などがわかり、自身の研究テーマに活用することができる。 ② 疫学及び統計学に関する基礎知識を理解でき、自身の研究テーマに活用することができる。 ③ 看護研究の研究計画書について理解し、立案することができる ④ 看護研究における倫理について理解を深め、それに基づいた研究計画書を作成できる。					
時間外学習に必要な内容・時間	シラバスの毎回の内容について、予習しておくこと (各1時間)。 毎回配布される資料を熟読し、復習をして次回の授業に臨むこと (各1時間)。 講義内容をもとに自分自身の研究課題と対応させ考え、研究計画を立案・企画する (各1~2時間)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間 (2単位15回科目の場合: 予習+復習4時間/1回) (1単位15回科目の場合: 予習+復習1時間/1回) (1単位8回科目の場合: 予習+復習4時間/1回) を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	第1~2回 質的研究の具体的方法を学ぶ: 研究デザイン、データ収集、分析 (内容分析、質的統合法、SCAT等) 第3~7回 量的研究の具体的方法を学ぶ: 疫学、統計に関する基礎知識と研究への適応: 研究デザイン、分析 (単純集計、相関、多変量解析、因子分析等) 第8~9回 混合法の具体的方法を学ぶ: アクションリサーチ、プログラム評価等 第10回 ケースレポート・事例研究の具体的進め方を学ぶ: 第11回 研究計画書立案、グループワークについて 第12~13回 グループワーク、演習: 興味のあるテーマに対しリサーチアクションと文献検索を行い、プレゼンテーションを実施する。 第14~15回 グループワーク、演習: 興味のあるテーマに対し質的研究・量的研究の手法を用い研究計画書を立案し、プレゼンテーションを実施する。					杉崎 工藤 大西 大西 大谷 杉崎、大谷 大西、工藤 杉崎、大谷 大西、工藤
評価方法 評価基準	授業への参加度およびレポートから総合的に評価する。					
教科書	使用しない		参考書等	適宜紹介する		